

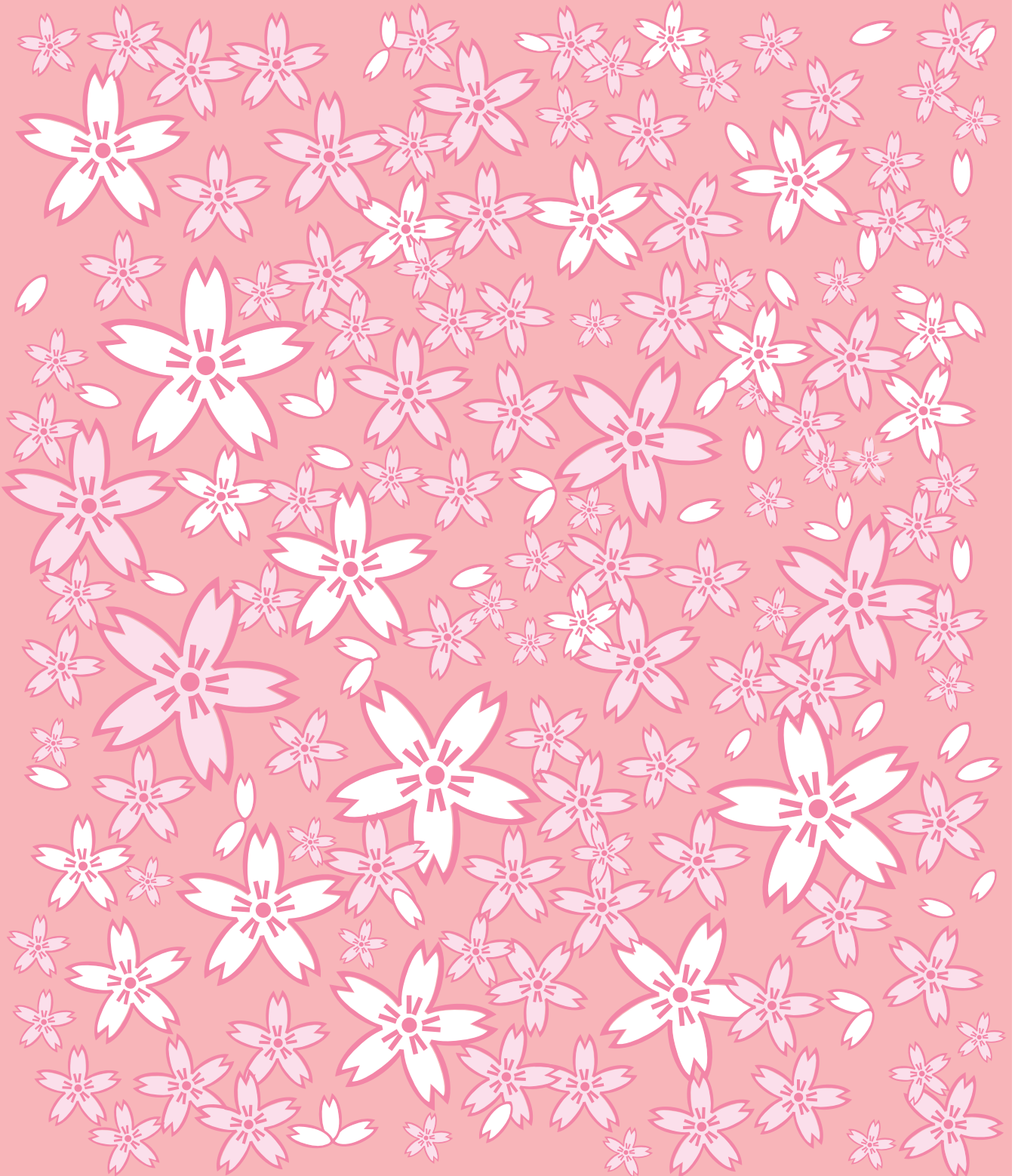
# 会報

春

No.169

2015.4

一般社団法人 北海道電業協会



目 次

改革と保安	経済産業省 北海道産業保安監督部 企画調整官 高橋 毅… 1
平成27年電気関係賀詞交歓会	2～3
就任ご挨拶	(株)北海道ジーエス・ユアササービス 代表取締役社長 田口 朋宏… 4
技術講習会「電設技術者のための病院の電気設備」	5
電設業関連四団体懇談会	6
安全衛生パトロール実施報告	7
～シリーズ～ 1 / 212だより	
澄みきった十勝の空の下で豊かさ育むまち～十勝清水町～	清水町長 高 薄 渡… 8～9
湖海と火山と大地が結び合い元気を作る交流の町～洞爺湖町～	洞爺湖町長 真 屋 敏 春… 10～11
現場からこんにちは	12
分離発注訪問記	13
～シリーズ～ 「私のいちおし」	
浅海電気(株)札幌支店 取締役支店長 松 澤 祥 二	14
～シリーズ～ 「ビジネスマンはこれを読め！」	
(株)久住書房 社長 久 住 邦 晴	15
お知らせ	
平成27年度「電気工事施工管理技術検定試験」受験講習会	16
平成27年度「登録電気工事基幹技能者認定講習会」	17
業界だより、理事会・三役会・委員会報告	18～19
事務局日誌	20
編集後記	



# 改革と保安

経済産業省 北海道産業保安監督部

企画調整官 高橋 毅

今頃と言われるかもしれませんが、最近、今住んでいるマンションのインターホンが、エンタランスの相手が確認できるモニター付きのものに変わりました。ここまで必要なのかという気もしますが、セキュリティの面では確かにメリットがあるのでしょうか。本当に便利な世の中になったものです。

10年ほど前に、長年住んだ古い宿舎からマンションに転居したときには、もっと便利さを実感しました。それまで冬場のストーブの灯油補充やら風呂のボイラーの点火などで手間がかかっていたのが、ボタンひとつで簡単に済むようになったからです。マンションの熱源はガスですが、システムを制御する装置はもちろん電気で動作するものです。

万一停電になれば、とたんに役に立たなくなります。私たちの安全で快適な暮らしは、言うまでもなく電気の使用を前提に成り立っています。ただ、目に見えない電気の有り難さは普段はあまり意識することがなく、災害、事故などで供給がストップして、はじめて実感するのかもしれません。

平成24年11月末に暴風雪で送電鉄塔が倒壊し、胆振管内を中心に数日間にわたり大規模な停電が発生した際には、地域の人々は数日間、厳しい生活を余儀なくされました。当時、私は北海道経済産業局の地域経済課という部署に在籍していましたが、商工業への影響等を調査、把握するために、停電発生の翌日に現地に行き、市役所、商工会議所等を訪問し、色々とお話を伺い、久し振りに電気が無い暮らし、生活の大変さ、不便さ、心細さを目の当たりにしました。帰路、登別市内の

市街地の灯りが見えない真っ暗な道を車で走りながら、電気の有り難さを改めて肌で感じたことを思い出します。

こうした、文字通り私たちの生活を支える最も重要な基盤のひとつである日本の電気制度が大きく変わろうとしています。政府として取り組んでいる電力のシステム改革です。

電力システム改革は、これまでの制度が抱える様々な限界を打破するため、「電力の柔軟な供給の確保」「電気料金の抑制」「電気利用の選択肢や企業の事業機会の拡大」を目的に進められています。今年の通常国会には、改革の総仕上げとなる第三弾の法案が提出されることとなっています。

改革はもちろん重要です。ただ、電力に限らず、どのような改革もしっかりした保安の確保が大前提です。電気利用の形態がますます多様化・深化すると考えられる電力システム改革後においても、一般電気工作物の調査等は従前通りとなる予定で、電気保安に関する業務がますます重要になっていくことは間違いありません。

今の職場の執務室の壁には道内の電力送電系統図が貼られています。発電機のタービンからビルや工場の配電盤、家庭のコンセントに至るまで、道内のすみずみにまで張り巡らされたこの送電線に結ばれた膨大な数の設備、装置・機器の工事や保守管理に携わる数多くの方々の責任感と絶え間ない努力に支えられてはじめて、私たちが安全に電気を利用し、快適な生活を送れることを肝に銘じ、忘れてはならないと思います。

## 平成27年電気関係賀詞交歓会

○主催者

(-社) 日本電気協会北海道支部

北海道電気工事業工業組合

(-社) 北海道電業協会



○日 時 平成27年 1月 9日(金) 11時より

○場 所 札幌グランドホテル 2階 グランドホール

恒例の上記3団体による「平成27年電気関係賀詞交歓会」が1月9日札幌グランドホテルにおいて、3団体の会員合わせて340名が出席して開催された。

初めに主催3団体を代表して(-社)日本電気協会北海道支部の佐藤佳孝会長が挨拶された。

佐藤会長はまず、工事業界の皆様方に道民のライフラインである電力の安定供給のため、現場の最前線でご尽力をいただいていることに対して、お礼を述べた後、昨年の国内経済などについて

「4月の消費税引き上げによる個人消費及び企業の設備投資の低迷により、国内総生産が2期連続マイナスとなるなど、厳しい状況が続いた。

また、円安の進行により、原材料の輸入価格の上昇は、企業経営や個人消費を圧迫し、自動車などの輸出産業を除き、国内経済全体として景気回復の足取りは重く、道内の景気も回復には至っていない。」と述べられた。

続いて、電気事業を取り巻く状況では「今なお、国内の原子力発電所が全て停止となっている。ようやく昨年9月に、九州電力の川内原子力発電所1・2号機が、原子力規制委員会から原子炉設置変更許可を受け、11月に鹿児島県からも再稼働について同意が得られたことから、本年早期の再稼働が期待できる状況となった。

北海道電力の泊発電所の再稼働については、現在も原子力規制委員会の審査が続いており、課題は基準地震動の策定に絞られてきたことから、適切に対応し、本年11月の再稼働を目指して、最大限の努力を尽くすこととしている。

この様な状況の下、北海道電力では、火力燃料費の増加などから収支・財務状況が更に悪化した



挨拶 佐藤会長



ため、一昨年の電気料金値上げに引き続き、昨年11月に電気料金の再値上げを実施させていただいており、皆様には、大変ご迷惑をおかけしている。泊原子力発電所の再稼働時期が遅れると、今後とも需給ひっ迫の恐れが払拭されず、道内経済に大きな影響を及ぼすことが懸念される。我々としては、安全確保を大前提として一日も早い再稼働が必要と考えており、本年は、泊発電所3号機の再稼働に向けて大変重要な年と考えている。」として一層の理解と支援を訴えた。

また、道内の電力需給状況について「泊発電所が全基停止している中で、新規電源として揚水式発電所である京極発電所1号機が、昨年10月に営業運転を開始した。我々としても、安定供給の確保に努めているが、火力発電設備や北本連系設備のトラブルがあり得ることを考慮すると、決して楽観視するような状況ではないと考えている。

このため、この冬についても、数値目標のない節電要請ではあるが、平日の8時から21時の時間帯における節電と計画停電回避緊急調整プログラムの契約をお願いしている。」

さらに、電力改革関係について「本年4月に、

電力広域的運営推進機関の設立が予定されるとともに、来年4月の電力小売の全面自由化に向けての準備が一段と進められるほか、2018年から2020年を目途とした発送電分離を含む電気事業法改正案が通常国会に提出される見込みであり、電気事業の大きな転換がスタートする年である。我々は今後とも、これらの動向に適切な対応をしていきたい」と表明された。

最後に事業環境について「引き続き大変厳しいものがあるが、国民生活、産業活動における電気エネルギーの重要性は、変わるものではない。安心・安全な電気の供給は我々電気関係業界の使命である。電気工事技術の向上と安全・確実性の確保に努めていただき、道民から信頼される事業者として、この難局を共に乗り越えて、飛躍につながる一年としたい」と挨拶された。

この後、北海道電気工事業工業組合の尾池一仁理事長の乾杯で交歓会が始まり、テーブルのあちこちで名刺交換や歓談する姿がみられ、和やかな雰囲気での時間の経つのも忘れるほどの賑わいであった。最後に当協会の大房孝宏会長の一本締めでお開きとなった。



乾杯 尾池理事長



お開き 大房会長

# 就任ご挨拶



(株)北海道ジーエス・ユアサ  
サービス  
代表取締役社長

## 田 口 朋 宏

陽春の候、会員の皆様におかれましては、益々のご清栄のことと、お慶び申し上げます。

この度、1月30日付で前社長三原剛の後任として就任いたしました田口朋宏でございます。

平素は、当協会ならびに会員の皆様には大変お世話になり、心から厚くお礼申し上げます。若輩ではありますが、会員の皆様にご指導、ご鞭撻を頂きながら、協会並びに業界の発展のため微力ながら最善を尽くしてまいりますので、前任者同様よろしくお願い申し上げます。

当社は、GSユアサグループの一員として、主に非常用電源、蓄電池設備関連を販売から据付工

事、アフターサービスまで提供し、様々な社会インフラへ『安全と安心』をお届けするエンジニアリングサービス会社です。

また、現在は新エネルギー関連及び蓄電池を組み合わせた防災型の設備工事にも取り組んでおります。最近は、市場の変化が早く動向が見えにくい状況ではありますが前向きに取り組んでいきたいと思っております。

私事ではありますが、約25年の東京勤務から北海道へ単身赴任でまいりました。初めての勤務地、初めての単身生活と初めてづくしの生活であり戸惑う部分もありますが、観光やスポーツなど雄大な北海道を楽しみたいと思っています。また、公私ともに皆様からのご助言を頂ければ幸いです。

最後になりますが、北海道電業協会の益々のご発展と会員皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げます。新任の挨拶とさせていただきます。

## 定時総会のお知らせ

- 一般社団法人 北海道電業協会 第49回定時総会
- 一般社団法人 日本電設工業協会北海道支部 第59回定時総会
- 日 時 平成27年5月12日(火) 15時30分開会
- 場 所 札幌グランドホテル 別館グランドホール



## 技術講習会「電設技術者のための病院の電気設備」



平成27年2月6日(金)午後1時より、北海道電気会館502会議室において「電設技術者のための病院の電気設備」の講習会を開催し、受講者は会員企業の工事实務担当者36名の方々が参加した。

開催にあたり主催者を代表して、当協会の岡竹俊和技術安全委員長（㈱きんでん北海道支社長）から「札幌市内では大型建築の計画があり、電気設備の技術要求は高まっている。さらに少子化と高齢化で電気設備に従事する若者が減少している中、技術力の向上、安全作業の継続など我々ができることを確実に実行して、お客さまの安心安全に答えていかななくてはならない」と一人ひとりの資質や技能の向上を求めた。

講師には、北海電気工事(株)の今野正章氏が（一社）日本電設工業協会本部から派遣された。

講習会では、（一社）日本電設工業協会が発行されたテキストと講師作成のパワーポイントで、高度医療環境下における電源システム、情報システム、電磁ノイズ対策、ME機器の安全と接地システム、院内クリーンルーム関連施設、雷保護システム、院内ネットワーク、BCP、最近の病院建築の動向などについての必須事項について解説した。

受講者は、スクリーンとテキストを交互に見ながら熱心に講師の話に耳を傾けて重要なポイントを学んでいた。



開講挨拶 岡竹委員長



講師 今野氏

## 電設業関連四団体懇談会



平成27年2月20日(金)午後4時から、北電北2条クラブにおいて、当協会、(一社)日本配電制御システム工業会北海道支部、北海道電気資材卸業協同組合、電気資材メーカー(パナソニック、東芝、三菱電機)の4団体による懇談会を開催し17名が出席した。

はじめに当協会の大房会長から道内の景況と業界の課題として「①社員の高齢化と若年入職者の減少により技術・技能をいかに継承していくか。②工事量の増加と人手不足による工事の遅れ、品質と安全確保の問題。③国の再生可能エネルギーの見直しや電力システム改革への対応」などにふれ、今後とも皆様との連携が重要であると挨拶された。

続いて日本配電制御システム工業会の中山尚之北海道支部長から「北海道・東北地区の景況感はいままで全国で一番悪い状況にあったが、最近では良くも悪くもないところまで改善してきている。

全国的な動向で販売価格は横這い、仕入価格は大幅に上昇しており、採算状況は地方によってバラツキがあり、北海道・東北地区はあまり良くない。今後、関東地区はオリンピック需要で忙しく

なるので、これを機会に北海道も潤ってくるよう努めていきたい」と挨拶された。

次に北海道電気資材卸業協同組合の三神司理事長から「消費税増税後、着工件数が落ち込んでいる住宅部門の仕事に携わる会社は厳しい状況になっているが、病院や介護保険施設等の新設物件が増加がみられ、電気資材卸業としてはプラス面が多い。また太陽光発電関連は28年度以降は減少することが明らかであることから、その対応を模索している」と挨拶された。

引き続きパナソニック(株)エコソリューションズ社北海道営業部の安岡寿部長、東芝ライテック(株)北海道電材営業部電設営業所の白戸直所長、三菱電機住環境システムズ(株)北海道支社開発営業部の三浦潔部長からそれぞれ業界の現状と今後の見通し・対策等の報告があった。

最後に、当協会の小川専務理事から、電設工事業界の現況について全国電設協会会員企業の経営実態調査結果(平成21～平成25年度)より、技術職員数や完成工事高、電気工事受注高の経年別推移について紹介した後、意見交換となった。

会議終了後の懇親会では、情報交換の場となり終始和やかな雰囲気の中で終了した。



大房会長



三神理事長



中山支部長



## 安全衛生パトロール実施報告



平成27年2月17日(火)技術安全委員会委員による安全衛生パトロールを実施した。

今回の現場は、札幌市中央区北4条西6丁目で新築工事中の六花亭(株)札幌本店ビル。

当該建物に近接している日本生命ビル内に事務所がある(株)きんでんの会議室に関係者9名が集合した。

はじめに岡竹技術安全委員長から「電気工事に取り組む作業員の安全確認が目的。同業者にケガをさせないため、遠慮なく指導してほしい。それが安全に対する意識向上につながる」と挨拶された。



事務局から、安全パトロール点検表に基づき点検担当者を決定。

続いて、電気設備を請負っている拓北電業(株)の宮森取締役工事本部長の案内により、工事を請負っている(株)竹中工務店北海道支店の現場事務所に移動して、武田力所長から工事の概要、各階の用

途、作業進捗状況などの説明を受けた後、パトロールの注意点など「点検前ミーティング」を行い、工事現場へ向かった。

パトロール現場の主要構造はSRC造、延べ床面積5,178.39㎡、1・2階～六花亭製菓(株)店舗、3・4階～他店舗、5階～ギャラリー、6～8階～音楽専用ホール、9階～レストラン他、10階～会議室(多目的ホール)。

電気設備概要は受変電設備750kVA、非常用発電機260kVAが1台、動力負荷629kW、電灯負荷480kVA。

平成26年4月に着工し完成は平成27年5月で進められている。

当日は各階の天井・壁配線工事などが行われていた。

パトロールは最初に10階まで登り各階フロア内の一般事項、墜落防止、感電防止、衛生環境、防火管理など点検して終了した。

終了後、当協会会議室において、安全パトロール点検表のチェック項目を整理し個別に各委員から点検結果が発表され、概ね良好であることを確認した。

最後に澤田副委員長から「資材は良く整理整頓され、場内の清掃も良く行き届いていた。また基本に忠実に安全管理がされていた」と総評を行った。



## 澄みきった十勝の空の下で 豊かさ育むまち ～十勝清水町～

清水町長 高 薄 渡



夏の清水円山展望台の風景（町公式ホームページより）

### ■まちの概要

清水町は、北海道の東南部、十勝地域西部にあたり、道央と道東の峠である「日勝峠」の東側に位置する道東の玄関口となる町です。

本町が位置する十勝圏域は人口約17万人の帯広市を核に19の市町村で構成されており、圏域の面積は10,831km<sup>2</sup>、人口は約35万人で、清水町は其中で人口規模では中位に位置する基幹産業が酪農業の町です。

町の面積は、402.18km<sup>2</sup>（東西23.1km、南北30.7km）を有し、そのうち農業地域が36%、森林地域が44%を占めています。

地勢は日高山脈が南北に走り、剣山・久山岳・芽室岳・高尾山・ペケレベツ岳などの山系を頂点とし十勝川に向かって緩い傾斜をなし、季節ごとに色を変える雄大な景色を表現しています。

地質は、第4紀新層の湖成沖積、河成沖積、扇状および第4紀古層の海成洪積、湖成洪積扇状土からなる緩傾斜地と、おおむね平坦地で肥沃であり、豊かな実りの大地で育まれる小麦、豆類、甜菜や生乳などの畑作、酪農地帯を形成しています。

気候は内陸性で、7月下旬～8月中旬の盛夏期には30℃を超える真夏日が数日間あり、1月～2月の厳冬期は-20℃を下回り、年間の寒暖差は激しい地域といえます。しかし、一般的に「十勝晴れ」といわれる晴天率が高く、日照時間は全国有数であり、年間降雨量も少ない地域です。

### ■まちの歴史

清水町開拓の第一歩は第一国立銀行創設者でも

ある洪澤栄一子爵が熊牛地区に創設した十勝開墾合資会社の設立に始まります。

熊牛原野と呼ばれたこの地区に入植者が順次入り、農場事務所を中心に農場長社宅、集会所などが設けられ次第に集落が形成され、明治34年には、開墾会社の手により清水町最初の教育施設として公立熊牛簡易教育所が設置されました。

初代農場長に町村金弥氏が就任するが、なかなか進まない開拓と慣れない風土などで離散するものが多くいましたが、洪澤栄一氏の開拓の意思は固く再建計画を重ね、水稻栽培に着手し、設立の20年後の大正7年には優秀な農業経営に対し北海道より「金牌」が贈られました。しかし、本州米に比べ食味が落ち、冷害凶作への不安や生産調整制度などにより、昭和40年代より水田は減少し同62年には姿を消すこととなり、本町の農業は畑作野菜地帯へと生まれ変わりました。



夏のイモ畑

## ■清水四景十1

平成23年7月、清水町の景観を観光資源として強く打ち出す手段として景勝地を選定する委員会を設置し、検討した結果、本町が自信をもってお勧めできる景観スポットとして「日勝展望台」「展望パークゴルフ場（清水公園）」「美蔓パノラマパーク」「清水円山展望台」の4箇所（四景）と、清水町で抜群の集客力を持つ「十勝千年の森」(+1)を選定しました。

日高山脈をバックに広がる十勝平野の農村風景、パッチワークの畑などを見渡せる展望ポイントと四季折々の花や紅葉が楽しめるパークゴルフ場、森・庭・農・アート・食の分野で人と自然がふれあえる空間を活用して清々しい心の癒しと水々しい体験を提供します。



清水四景の1つである日勝展望台

## ■食によるまちづくり

平成22年初頭、町内の有志や若手役場職員が、清水町の新たなまちづくりの展開を目指して、新・ご当地グルメを創るため動き出しました。

肉用牛生産道内第2位の牛肉「十勝若牛」、鶏卵生産道内3位の「玉子」を組み合わせたご当地グルメが提案され、町内の有志と飲食店9店が協議会を設立、レシピ作りを繰り返し約半年がかりで、ふわふわ玉子のスクランブルと特製味噌で味付けした十勝若牛を組み合わせた「十勝清水牛玉ステーキ丼」(愛称：牛玉丼)を完成させ、平成22年7月17日にデビューしました。

デビュー1年目には、目標である2万食を上回る約2万5千食を売り上げるなど好調に推移し、道内の新ご当地グルメが参集した「新・ご当地グルメグランプリ」では平成23、24年と2年連続で準グランプリ、平成25年7月に芽室町で開催されたグランプリ大会では、悲願のグランプリを獲得し、平成26年7月の美瑛町グランプリ大会でもグランプリ2連覇を果たしています。



十勝清水牛玉ステーキ丼

## ■第九やアイスホッケーなどによるまちづくり

昭和55年12月の清水町文化センター開館の際のこけら落としで催された「第九演奏会」は清水町を「第九の町」として印象付け、以来5年ごとの演奏会が開催されています。平成22年には6回目の演奏会が開催されました。

また、清水高校が全道大会で優勝を果たした「アイスホッケー」は、昭和30年代から地域一体となって続けてきたアイススケートの振興が実を結んだひとつの結果であり本町の特性のひとつとなっています。中学校や少年団レベルのチームも軒並み全道大会等で活躍しています。

その他、少人数学級や子育て支援の取組から「子どもたちの健全育成事業」、食料生産基地である十勝・清水町での安全・安心の農業の推進や森やきれいな水を守るための「森と水・景観の保全事業」、本町のほか6町で構成するシーニックバイウエイの振興や花でホスピタリティを表す「花で彩るまちづくり」の5つの政策メニューを掲げる「いきいきふるさとづくり寄附条例」を平成20年10月より施行しました。

平成22年12月5日、5年ぶりに開催された「第6回第九演奏会」の開催経費の一部と、アイスアリーナのトレーニング機器の充実・更新のため、「第九のまちづくり事業」と「アイスホッケーのまちづくり事業」に対し寄附により積み立てた基金を取崩し活用したり、平成24年には桜並木の補植などのためにも活用しています。



第九演奏会の様子

## ■移住・定住促進

芸術文化活動やふれあい農園、住民との交流など町の資源をアピール、活用して移住者の欲求に応え、そのことが町民のメリット、活性化につながるよう施策を研究、実践しています。

平成18年北海道移住促進協議会に加入し町の資源の発信をすると共に、平成20年7月旧教員住宅を生活体験用住宅として整備し、清水町での“お試し暮らし”を提供しています。22年度には、森林整備加速化・林業再生事業を活用して新たな移住体験住宅（清水）を建設、夏季に集中する移住体験に応えると共に、十勝産カラマツをふんだんに使った住宅は、木の持つぬくもりと柔らかな雰囲気、移住体験を印象深いものにしていきます。



移住体験住宅（清水）



# うみ やま 湖海と火山と大地が結び合い 元気を作る交流の町 ～洞爺湖町～

洞爺湖町長 真屋 敏 春



洞爺湖

## 【町の概要】

洞爺湖町は、北海道道央地域の南部「支笏洞爺国立公園」区域にあり、総面積は181km<sup>2</sup>です。平成18年3月27日に虻田町と洞爺村が合併し、洞爺湖町として生まれ変わりました。

湖（洞爺湖）と山（有珠山）と海（噴火湾）に囲まれた自然豊かな町で、洞爺湖町周辺地域は北海道の中でも最も気候温暖な地方といわれ、交通の便もよく、景観に恵まれていることから北海道有数の観光地となっています。

地形は、下台地が洞爺湖の美しい水面に向かって南傾斜し、北の高台地は羊蹄山麓に続いています。

気候は、内浦湾の影響を受け春がやや不順ですが、晩秋は良好。盛夏時には、札幌などと類似した大陸型の様相となります。洞爺湖によって適度な湿度が供給され、農業に適した気候条件です。

## 【町の歴史】

虻田町と洞爺村が合併し、平成18年3月27日に洞爺湖町が誕生しました。

町名については、一般公募1,034点の中より選ばれ、「洞爺」は、アイヌ語で「トー」が沼・湖、「ヤ」は岸を示し、「湖岸」という意味です。

## 【洞爺湖有珠山ジオパーク】

ジオパークとは、世界的に貴重な地質、地形、火山などの自然を親しむ公園で、世界遺産の地質版ともいわれています。2004年には、ユネスコの支援を受けた世界ジオパークネットワークが発足

し、審査、認定を行っています。

洞爺湖有珠山ジオパークは、2008年に日本ジオパークに加盟認定され、翌年の2009年には、糸魚川、島原半島と同時に日本で最初の世界ジオパークとして加盟が認められました。2013年には世界ジオパークの加盟の再認定を受けています。

洞爺湖町では、地質遺産を保護するだけでなく、防災学習の場として整備し、自然遺産を観光資源とする満足度の高い観光「ジオツーリズム」を通して地域経済の発展を目指しています。



洞爺湖有珠山ジオパーク

## 観光振興としてのさまざまなイベント

### ◆TOYAKOマンガ・アニメフェスタ

2010年6月、洞爺湖温泉誕生100年の記念事業の一環として始まりました。洞爺湖温泉街をまるごとコスプレ会場にし、コスプレダンスパーティや声優のトークショー、アニメについてのシンポ

ジウムなど、アニメに関する様々な企画が評判を生み、1回限定で始めたイベントが、毎年開催されるようになり、今年第6回の開催が決まっています。

初回3,000人からスタートした参加人数も、昨年第5回では、57,000人にもなり、多くのコスプレイヤーが注目するイベントへと成長を遂げ、洞爺湖の初夏の一大行事として定着してきています。



TOYAKOマンガ・アニメフェスタ

#### ◆豊かな自然景観を活用したスポーツイベント

温暖な気候と豊かな自然景観を活用して、洞爺湖を会場とするスポーツイベントが多く開催されています。

新緑が映える5月に開催しているのが洞爺湖マラソン。昨年40周年を迎え、フルマラソンから親子2kmまでの4コースに6,000人のランナーが全国から集まります。



アイアンマンジャパン北海道

3年前から8月に開催されているアイアンマンジャパン北海道は、世界レベルのトライアスロン大会。洞爺湖を泳ぐスイムが3.8km、羊蹄山麓を疾走するバイク（自転車）180.2km、洞爺湖畔を走るラン42.2kmの総距離約226.2kmのコースで競い合います。昨年は、国内外から約1,200人の鉄人らが参加しました。

9月の中旬には、初秋の洞爺湖を楽しむツデーマーチ北海道が開催されます。今年28回目の開催となるウォーキングの大会です。2日間にわたって、洞爺湖や周辺市町村を歩きます。昨年



洞爺産業まつり 野菜まき

は、全国から約1,300人の健脚の皆さんが参加しました。

#### ◆地場産の食材を楽しむ食のイベント

自然環境に恵まれた洞爺湖町では、噴火湾産のホタテをはじめとした魚介類や羊蹄山麓に続く肥沃な土地から生産される農産物、あか毛・黒毛の



月浦ワインまつり

両方の和牛など食の宝庫というべき多種多様な食材が揃う町でもあります。

そのため地場産の「食」を楽しむイベントも多く開催され、地元だけでなく、近郊の都市からも多くの人たちが訪れています。

6月の下旬に行われる洞爺産業まつりは、とうや湖和牛（黒毛）のBBQを中心に、湖上のカヌーから行楽客に野菜をまく「野菜まき」など食を満喫するイベントです。

収穫の秋に開催されるのが、10月上旬の月浦ワインまつり。月浦地区で収穫されたブドウから作られたワインと、とうや湖あか毛和牛を堪能するイベントです。



大秋穫祭 サケのつかみ取り

10月の中旬には、海の幸と山の幸が一堂に会する大秋穫祭があります。「洞爺湖の大地・海湖（ジオ）の恵みを味わおう！！」をテーマに、あか毛、黒毛のBBQやサケのつかみどり、ニンジン・ジャガイモのつめ放題など食欲の秋にふさわしい「食」満載のイベントです。

# 現場からこんにちは

工事名称 札幌中央変電所再設のうち  
本館新築工事  
工事場所 札幌市中央区大通東地区  
工 期 平成26年5月～平成27年10月  
発注者 佐藤工業株式会社  
施工業者 北海電気工事株式会社

## 【工事概要】

- ・構造：鉄筋コンクリート造
- ・規模：地下1階・地上2階+塔屋
- ・延べ床面積：1,938.14m<sup>2</sup>

## 【工 種】

電灯コンセント設備、動力設備、  
警報設備（扉）、火災報知設備

今回取材させていただきましたのは、札幌中央変電所再設のうち本館新築工事の現場において現場代理人を務めます北海電気工事株式会社、田中淳一様にお話しを伺いました。

## 【工事目的】

現在の札幌中央変電所は昭和29年建設以来、札幌市内中心部へ電力を供給する重要施設として、運転開始後60年にわたり運用されています。

この度、変電設備の更新に伴い変電所本館の継続使用検討を行った結果、建物の老朽化が甚だしく建物改修・補強工事の実施が困難なことから、変電所本館の別位置再設が決定され、現在平成28年10月の運転開始を目指し施工中です。

変電所の建築物の耐用性の検討に当たっては、機器対応年数に合わせた供用期間を設定する必要があります。機器更新サイクルが最長となる変圧器の耐用年数（50年）に合わせ、更新を1回見込んだおおよそ100年の供用期間を想定した設計がなされています。

## 【施工の特徴】

供用期間を満たすために「耐久性」、「機器更新時対応」、「建物維持管理」、「災害対策」の4点に留意しています。

耐久性は、①コンクリート耐久性基準強度長期供用級30N/mm<sup>2</sup>の採用、②コンクリート中性化進行抑制の為のかぶり厚さ設定、③ケーブル支持材の取付けのための後打ちアンカー等を考慮したフカシコンクリートを採用しています。

機器更新時対応は、将来の機器更新を考慮し、2階キュービクル室及び配電盤室の床について、フリーアクセスフロアを採用し、機器再レイアウトに対するフレキシブル性を確保しました。また、機器更新時の荷重条件変更については、今後、機器荷重は軽量化される方向性である事から

過剰な荷重設定はしていません。

建物維持管理は、①構造体のスケルトン化（コンクリート打放し）による劣化状態を逐次把握できる設計、②電気設備配管のコンクリート躯体打ち込みを取りやめ、集約化と露出化をすることでコンクリート躯体改修時の配管切断リスクが低減できると共に、設備維持管理を容易に行えるよう配慮しています。



1階 配管露出化

災害対策は、①地震対策として、構造耐力上余裕度として、最大地震係数を採用、②洪水対策として、札幌市作成の洪水ハザードマップでは、建設位置の洪水水位50cm以上を確保するため、1階床高さをGL+60cmとしました。

## 【今後の流れ】

現場の進捗率は75%で変圧器・キュービクル等の搬入のため2カ月間程休工する予定です。現在は搬入のために建屋の一部を仮設シャッターにしていますが、搬入後にシャッターを撤去して躯体を打ち上げ、二期工事となり今年10月の竣工を目指します。

これからますます忙しくなることと思われませんが、無事故・無災害で市民皆様の役に立つ施設が完成することを祈念しております。2年後の運転開始時に広報委員として再度取材できたら幸いです。

大変お忙しいところお時間を頂き、私ども広報委員の取材にご協力頂き本当に有難う御座いました。

取材 広報委員 大塚 雅史、富樫 亮太



現場代理人 田中 淳一さん  
北海電気工事株式会社

## 分離発注訪問記



(写真手前) 釧路建設管理部幹部の皆様 (写真前方) 釧根電業協会の皆様

釧根電業協会では、釧路管内8箇所・根室管内4箇所と根室市を3つに分け、それぞれ担当副会長を中心に会長と理事者で分担して管内市町村の幹部に対して、電気工事として分離発注の引き続きのお願いを毎年（今年は平成26年12月から平成27年1月）続けております。その中で、上下水道部発注の工事や防災無線工事、消防救急デジタル無線更新工事など大手メーカーへの一括発注から地元企業での共同企業体として入札参加が出来る条件の要望などを積極的に推進してきました。

平成26年7月24日には、北海道開発局事業振興部機械課と釧路開発建設部施設整備課の幹部の皆様と釧根電業協会理事者との意見交換会を実施しております。

議事として話題提供を頂いた内容では、①電気通信発注工事における取組み②入札契約制度についての情報提供③社会保険等未加入対策について説明されました。

意見交換として①電気工事における諸課題について、要望事項についてそれぞれ回答を頂きました。

分離発注推進の活動において、各市町村幹部の皆様そして意見交換会において、発注者幹部の皆様におかれましては大変お忙しい中お時間を頂きご配慮、ご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

### 平成26年度釧路建設管理部と釧根電業協会との意見交換会の実施

- 日時 平成27年2月3日(火)13:00から
- 場所 釧路市生涯学習センター
- 出席者
  - ・釧路建設管理部副局長四辻淳様他11名
  - ・釧根電業協会理事役員の計8名
- 議事
  - (1)釧路建設管理部様から平成27年度予算について説明を頂きました。
  - (2)意見交換として釧根電業協会からの提出議題について
    - ①平成27年度の事業概要、今後の見通しについての説明を頂きました。
    - ②電気工事の工事量確保に伴う各種要望とお願いをいたしました。
    - ③会員企業の将来を見据えた設備投資や新規雇用等の経営計画の参考にするために、中長期的な事業計画を提供出来る範囲の中で説明を頂きました。
    - ④早期発注のお願い。
    - ⑤優秀現場代理人表彰について

記：釧根電業協会 会長 新妻 緊市

## ～シリーズ～ 「私のいちおし」

浅海電気株式会社 札幌支店  
取締役支店長 松澤 祥 二

皆さんは、二条市場をご存じでしょうか。

二条市場のルーツは、明治初期に、石狩浜で漁師を営む人々が札幌へ石狩川を上って入り、釣ってきた鮮魚をはじめとする魚介類をこの地で販売したことが始まりだと言われています。今では約50店ほどの生鮮魚菜店が軒を連ねております。

最近では近辺に个性的なお店も増えてきて「創成川イースト」と呼ばれ大変人気のあるエリアとなっております。

今回、紹介するお店は、二条市場内で昭和17年創業の老舗店「近藤昇商店 寿司処けいらん」です。



(左) 店主の野澤 講次社長と(右) 松澤支店長

店内では、海産物の販売と海鮮丼等の提供をおこなっており、当社の先輩方も昔からこのお店を利用しています。

寿司処けいらんの人気メニューは、寿司御膳で



人気メニューの「寿司御前」

す。北海道の海の幸を満喫できるお得なセットメニューとなっております。いくら丼・うに丼・ほたて丼・かに汁の他に赤身・サーモン・かにの握りがついてきます。ボリューム感もあり、一つではなく、色々な海鮮を味わいたい方にはピッタリなメニューです。

寿司御膳の他にも、各種丼や刺身及びホタテ焼き等の海鮮店直営ならではの単品メニューも見逃せません。

店名「けいらん=鮭卵」にするほど「いくら」には力を入れているとのことですので、是非一度ご賞味下さい。販売している海産物についても、四季の旬な食材を仕入れており、野菜やおつまみ等の北海道ならではの味覚が所狭しと並んでいます。

地方発送も対応いただいております、私もよく発送を依頼しています。



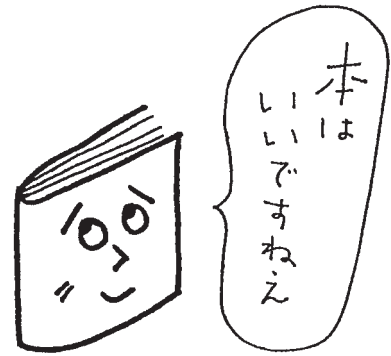
お近くにお越しの際は、是非お立ち寄り下さい。

店 名：近藤昇商店 寿司処けいらん  
住 所：札幌市中央区南3条東2丁目8番  
電 話：011-241-3377  
営業時間：8：00～16：30  
定 休 日：無休（年末年始除く）





# ビジネスマンは これを読め！



(株)久住書房 社長 久住邦晴

「なぜだ?!売れない文庫本」をはじめ、全国の書店に波及した「本屋のオヤジのおせっかい、中学生はこれを読め！」など独創的な企画で注目を集める、くすみ書房社長の久住邦晴氏（北海道書店商業組合前理事長）おすすめの一冊をご紹介します。

## 『世界最強の商人』(¥562)

## 『その後の世界最強の商人』(¥605)

著者：オグ・マンディーノ

訳：山川紘矢・山川亜希子

出版社：角川文庫



昨年の11月に上京した時、導かれるようにお茶の水のJR駅前にあるニコライ堂に寄ってきました。キリスト教の信者ではないですし、信心深くありませんので中に入ったのは初めてでした。観光客でいっぱいでしたが壮大なスケールと雰囲気圧倒されました。

その後、神田の三省堂さんに寄り、何気なく目に入った1冊の本を買ってきました。その本は1970年頃、世界中で大ベストセラーになったオグ・マンディーノの本でした。成功哲学の本で、ビジネスマンのバイブル的な本でした。日本でも、彼の本は何冊も出版されベストセラーになりました

ので、読まれたことがあるかもしれません。私を買ってきた本は新訳で文庫化されたものでした。

実は、この本にその後何度も救われたのです。この本の内容は「ラクダの世話係の少年が、世界最強の商人と呼ばれている主人から受け継いだ巻物に書かれた10カ条の成功原理を学び、少年も世界最強の商人になっていく」物語です。

この巻物の第1カ条のテーマ（その後の世界最強の商人）は「私は二度と再び、自己憐憫や自己卑下はしない」で次の文章で始まっています。

**\*私は成功するために生まれてきた。失敗するためではない。**

**\*私は勝利するために生まれてきた。敗北して頭をたれるためではない。**

そして次の文章で終わっています。

**\*もし、私が試みさえすれば、私に成し遂げられないことは何ひとつない。**

12月の当店は資金繰りに追われ、足りなくなりそうになるたびに「ああ、もうダメだ」と泣き言を言ったり、孤独感で押しつぶされそうになったのですが、そういう時にふと思い出してこの文章を口にしてみました。そうすると不思議と元気になったのです。

何度も声に出して言っているうちに、「そうだ、私が失敗するわけがない」と思えることが出来たのです。

この本ではラクダ使いの少年が旅先で寒さにふるえるイエスキリストの一行に大事なマントを差し出す場面があります。この場面に出会い、私の中でニコライ堂とこの本が結びついたように思いました。

本と出会うきっかけは様々です。皆さまにも素晴らしい本との出会いがありますように願っております。

# お 知 ら せ

## 平成27年度「電気工事施工管理技術検定試験」受験講習会

### ○ 1 級学科

【申込期限】

開催初日の8日前まで（4月14日）

【開催日】

平成27年4月22日(水)～23日(木) 2日間（開催地：札幌）

【申込方法】

◆一般財団法人 地域開発研究所ホームページから (<http://www.ias.or.jp>)

・方法1～直接申し込みができます。

・方法2～FAX申込用紙をプリントアウトして申し込みができます。

◆講習会案内が同封の郵便局専用「払込取扱票」

・方法3～講習会案内書に同封の郵便払込書用紙で、最寄りの郵便局から申し込みができます。

【開催場所】

一般財団法人 北海道開発協会 6F会議室

（札幌市北区北11条西2丁目セントラル札幌北ビル6F 電話011-709-5211）

【学科試験日】

平成27年6月14日(日) 合格発表 平成27年7月24日(金)

### ○ 1 級実地

【申込期限】

Aコース（1日＋施工経験記述添削指導）平成27年8月3日(月)

Bコース（1日） 開催初日の8日前まで（9月6日）

【開催日】

平成27年9月14日(月) 1日間

【申込方法】 1級学科に同じ

【開催場所】

一般財団法人 北海道開発協会 6F会議室

（札幌市北区北11条西2丁目セントラル札幌北ビル6F 電話011-709-5211）

【実地試験日】

平成27年10月18日(日) 合格発表 平成28年2月5日(金)

## 平成27年度「登録電気工事基幹技能者認定講習会」

### 【申込受付期間】

平成27年8月1日(土)～8月31日(月)まで

### 【開催日】

平成27年10月24日(土)～10月25日(日) 2日間

### 【開催場所】

北海道電気会館

(札幌市中央区大通東3丁目)

### 【受講資格者】

(1) 認定講習を受講できる者は、次の条件を全て満たす者とする。

- ① 電気工事の直接施工業務に従事して、該当する建設業の種類につき10年以上の実務経験があること。
- ② 労働安全衛生法第60条による建設業としての職長教育（施行令第19条、施行規則第40条）を修了して、受講申込日までに3年以上の職長経験を有している者。
- ③ 第一種電気工事士免状を取得していること。

(2) 条件を満たす証明書類は次の書類を添付する。

- ① 実務経験については、事業主が証明した実務経験証明書。受講者が事業主の場合は、記載事実に相違がない旨の誓約書（署名、捺印）が必要。
- ② 職長経験については、同実務経験証明書と労働安全衛生法第60条による職長教育（施行令第19条・業種、施行規則第40条・事項及び講習時間）終了証の写し。
- ③ 第1種電気工事士免状の写し。

### 【受講料】

18,500円（受講料には、受講費、教材費、認定関係費が含まれます。）

9,250円・平成25・26年度の認定講習会・試験で不合格通知を受け、試験のみ受験する者。

・平成26年度の修了証有効期限を6ヶ月以上経過し、1年未満の者。

### 【申込方法】

所定の申込用紙により（-社）日本電設工業協会北海道支部に提出。

申込用紙は、（-社）日本電設工業協会のホームページからダウンロード願います。

## 業界だより

### 【法人職務執行者の変更】

(平成27年1月30日付)

- (株)北海道ジーエス・ユアサ サービス  
(新) 代表取締役社長 田口 朋宏  
(旧) 代表取締役社長 三原 剛

### 【退会のお知らせ】

(平成27年3月31日付)

- 安達電設(株)  
○日本リーテック(株)北海道営業所

## 理事会・委員会報告

### || 理 事 会

◇平成26年12月4日(木) 16:30~17:30

#### 第5回議題

##### 【協議事項】

1. 定時総会までの協会主要業務スケジュールについて
2. (一社)北海道電業協会 平成26年度上期決算報告について
3. 平成27年度会員大会に向けた対応について  
以上提案どおり承認された。

##### 【報告事項】

1. 平成27年度電気関係賀司交換について
2. 平成26年度経営者懇談会・セミナーの開催結果(以下項目省略)  
以上概要を報告(小川専務理事)

◇平成27年1月23日(金) 12:00~13:30

#### 第6回議題

##### 【協議事項】

1. 会費規程第2条に基づく等級格付けの見直し及び平成27年度の会費収入額の算定について
2. 平成26年度電設業関連4団体懇談会の開催について
3. 平成26年度技術講習会の開催について
4. 安全パトロールの実施について  
以上提案どおり承認された。

##### 【報告事項】

1. 本部258回政策委員会の概要報告について
2. 登録電気工事基幹技能者認定専門委員会の概要報告について

3. 平成26年度 北海道赤レンガ建築賞表彰式について
4. 北弘電社テクノセンター実技研修設備の見学について
5. (一社)北海道空調衛生工事業協会定時総会後の懇親会のご案内について
6. その他意見交換  
以上概要を報告(小川専務理事)

### || 三 役 会

◇平成27年1月13日(火) 12:00~13:00

#### 第10回議題

1. 電設業関連4団体懇談会の開催について
2. 会費規程第2条に基づく等級格付けの見直し及び平成27年度の会費収入額の算定について(案)
3. 平成26年度技術講習会の開催について
4. 安全パトロールの実施について
5. 本部258回政策委員会の概要報告について
6. 登録電気工事基幹技能者認定専門委員会の概要報告について
7. 北海道赤レンガ建築賞表彰式について
8. 北弘電社テクノセンター実技研修設備の見学について
9. 平成27年1月~2月行事予定について
10. その他意見交換

◇平成27年2月20日(金) 15:00~15:50

#### 第11回議題

1. 電設業関連4団体懇談会について

2. 平成26年度第2回運営協議会（地区代表者会議）の開催について
3. 平成27年度技術・安全衛生基礎講習会（新人研修）の開催について
4. 第4回社会保険未加入対策推進北海道地方協議会の開催について
5. 公共工事の品質確保の促進に関する法律第22条に基づく発注関係事務の運用に関する指針（運用指針）の説明会について
6. 災害協力協定（札幌市）連絡会議の開催について
7. 平成26年度技術講習会の開催結果について
8. 安全パトロールの実施結果報告について
9. 平成27年電気記念日表彰式典への出席について
10. 代表者の変更について
11. 平成27年2月～3月行事予定について
12. その他意見交換

◇平成27年3月9日(月) 12:00～13:30

#### 第12回議題

1. 定時総会までの協会主要業務スケジュール
2. 平成27年度収支予算（案）について〔電業協会・電設協道支部〕
3. 平成26年度電業協会功績表彰者の推薦について
4. 平成27年度会員大会・関連行事について〔本部報告（案）〕
5. 建設業等における構造改善推進懇談会の開催
6. 顧問会の開催案内について
7. 会員の退会報告
8. 平成27年3月～4月行事予定について
9. その他意見交換

## 総務委員会

◇平成27年3月6日(金) 12:00～13:30

#### 第4回議題

1. 定時総会までの協会主要業務スケジュールについて
2. 総務委員会の平成26年度事業実施状況及び平成27年度事業計画（案）
3. 平成27年度収支予算（案）について〔電業協会・電設協道支部〕

4. 平成26年度北海道電業協会功績表彰候補者の選考及び推薦について
5. 代表者の変更報告〔平成27年1月30日付〕
6. その他意見交換

## 経営委員会

◇平成27年3月17日(火) 12:00～13:00

#### 第5回議題

1. 第4回議事録の承認について
2. 平成26年度電設業関連4団体懇談会について
3. 災害協力協定（札幌市）連絡会議の開催について
4. 第4回社会保険未加入対策推進北海道地方協議会の開催について
5. 技術者数把握の実態調査について
6. 電設協 第260回政策委員会の開催概要について
7. 平成26年度経営委員会事業活動状況について
8. 平成27年度経営委員会事業実施計画（案）について
9. その他意見交換

## 広報委員会

◇平成27年3月18日(水) 15:00～17:00

#### 第4回議題

1. 平成26年度事業実施状況について
2. 平成27年度事業実施計画について
3. 会報「夏号」の編集方針（案）
4. 会報「春号」の校正
5. その他意見交換

## 技術安全委員会

◇平成27年3月11日(水) 12:00～13:00

#### 第4回議題

1. 実施報告
  - ①平成26年度技術講習会の開催結果について
  - ②安全パトロールの実施結果報告について
2. 平成26年度事業実施状況について
3. 平成27年度事業実施計画（案）について
4. 各講習会のお知らせ
  - ①平成27年度「技術安全基礎教育講習会」新

人研修

②平成27年度電気工事施工管理技士受験準備講習会（1級学科・実施）

③平成27年度登録電気工事基幹技能者認定講習会

5. その他意見交換

## 厚生委員会

◇平成27年3月20日(金) 16:00~17:30

### 第2回議題

1. 平成26年度各部会行事实施報告について
2. 平成27年度部会実施計画（案）について
3. 平成27年度予算（案）について
4. その他意見交換

## 事務局日誌

- 12月4日(木)・第9回三役会議  
・第5回理事会・常議員会
- 8日(月)・第3回総務委員会
- 9日(火)・第3回技術安全委員会
- 10日(水)・第3回広報委員会
- 11日(木)・大会総括実行委員会
- 16日(火)・第4回経営委員会
- 1月7日(水)・官庁新年あいさつ
- 8日(木)・本部電設協賀詞交歓会  
(東京)大房支部長他
- 9日(金)・電気関係3団体賀詞交歓会  
(札幌グランドホテル)大房会長他
- 13日(火)・第10回三役会議
- 19日(月)・会員大会ミニ実行委員会(旅行担当)
- 22日(木)・北海道設備設計事務所協会新年交礼会  
山口副会長  
(ホテルポールスター札幌)
- 23日(金)・第6回理事会・常議員会  
・(株)北弘電社テクノセンター見学会
- 29日(木)・本部常任理事会 大房支部長
- 30日(金)・札幌商工会議所新春交歓会  
(札幌パークホテル)小川専務
- 2月3日(火)・会員大会ミニ実行委員会(ゴルフ担当)
- 4日(水)・H26年度北海道赤レンガ建築表彰式  
(赤レンガ庁舎)小川専務

6日(金)・技術講習会

・電設協本・支部事務連絡会議  
(電設協本部会議室)小川事務局長

17日(火)・安全パトロール

・社会保険未加入北海道地方協議会  
WG (合同庁舎)小川専務

20日(金)・第11回三役会議

・電設業関連4団体懇談会  
(北2条クラブ)大房会長他

25日(水)・北海道空調衛生工事業協会定時総会  
(ホテルさっぽろ芸文館)大房会長

・会員大会ミニ実行委員会(大会総括担当)

27日(金)・歌唱部会(ナイトバンク)

3月2日(月)・会員大会ミニ実行委員会(旅行担当)

3日(火)・社会保険未加入北海道地方協議会  
(合同庁舎)小川専務

・品確法運用指針に関する説明会  
(合同庁舎)山口副会長

6日(金)・第4回総務委員会

9日(月)・第12回三役会議

10日(火)・災害時協力協定連絡会議

(札幌市役所)小川専務他

11日(水)・第4回技術安全委員会

・本部第260回政策委員会

(本部会議室)山口副会長

・第5回ゴルフ部会

12日(木)・建設工事における労災防止説明

(合同庁舎)小川専務

17日(火)・第5回経営委員会

18日(水)・本部第312回政策委員会

(本部会議室)大房支部長

・第4回広報委員会

20日(金)・道建築士協会総会后意見交換会

(札幌全日空ホテル)小川専務

・第2回厚生委員会

25日(水)・電気記念日表彰・祝賀会

(札幌グランドホテル)

類家事務局長

26日(木)・本部理事会

(ホテルグランドパレス)

大房支部長他

27日(金)・第7回理事会・常議委員会

・第2回運営協議会

## 編集後記

本州の方から桜の便りが届きますが、我が北海道では未だ「Spring has come!!」とまで至っておりません。一刻も早く春の息吹を感じたいものです。

この度は経済産業省 北海道産業保安監督部 企画調整官の高橋 毅様に「改革と保安」と題し、「電力システムの改革と保安の確保」についてご寄稿をいただきました。今後とも当協会に対しましてご指導、ご鞭撻を頂きますようお願い申し上げます。

さて昨年末「青色発光ダイオード」の発明に対して日本人3名に「ノーベル物理学賞」が授与されましたが、日本人として誇らしく思えた出来事でありました。受賞の際、「気の遠くなるような多大な努力とほんの少しの幸運」がこの大きな成果をもたらしたと紹介されていますが、先日、資料を整理していて、今回、受賞したうちの一人、天野教授と同じ名古屋大学の先生に関するコラムを目にしました。平成24年1月17日付、日本経済新聞の「春秋」なる欄の切り抜きです。このコラムは約80年前、若干31歳で同じく「ノーベル物理学賞」を受賞したハイゼンベルクの「不確定性原理」(※)に関するものです。この中で名古屋大学の先生等が「この原理は成り立たない」と発表したとの記述に対し、「分からないと分かっていたはずが、そうでないと分かった」との非常に分かりにくい表現?を用いていたことが強く印象に残っています。

この表現以上に「分かりにくい世の中」でもありますが、科学・技術の世界は日々進歩の途を辿っています。「真実、真理は何なのか?」と分からないことが多すぎて思い悩み、未(ひつじ)の数を数えすぎ、不眠症にならぬよう平成27年は特に心掛けたいものです。

21世紀となり15年、「先を読むのが難しい、不確定な世の中」ではありますが、この「青色発光ダイオード」の発明により、「21世紀の希望の光」として「人類の未来」を明るく照らす存在となることを誇らしく思います。

※「不確定性原理」とは「運動量と位置、エネルギーと時刻などの組が、同時にかつ正確に測定することが不可能である」という原理で、「量子力学」云々という世界でもあり、私凡人にはなかなか分かりにくいというより、極めて理解が難しい原理です。

広報副委員長 小笠原 憲生



発行 平成27年4月  
一般社団法人 北海道電業協会  
札幌市中央区南1条東1丁目3番地  
パークイースト札幌6階  
TEL (011)271-2932  
FAX (011)271-2952  
E-Mail:dodenkyo@estate.ocn.ne.jp